

令和6年12月6日

教育委員会事務局

課名/担当者/内線番号

学校経営課/課長 沖本/4960

義務教育指導課/課長 松尾/4970

高校教育指導課/課長 小野/4990

特別支援教育課/課長 津村/4980

学校現場における一人1台端末の整備及び活用状況について

1 要旨・目的

学校現場における一人1台端末の整備及び活用状況について報告する。

2 現状・背景

文部科学省の「GIGAスクール構想」を受けて、令和2年度以降、児童生徒一人1台端末の導入や、校内通信ネットワークの整備を進めており、全ての児童生徒の主体的な学びの実現に向けて、児童生徒の豊かな学びのための一人1台端末の効果的な活用の普及に取り組んでいる。

3 一人1台端末の整備状況

(1) 一人1台端末の整備状況

広島県では、「GIGAスクール構想」により、児童生徒一人当たりの端末台数は、1.1台となっている。

なお、現在整備している端末については、順次、更新時期を迎えることから、県及び全ての市町が参加する広島県GIGAスクール推進協議会を設置し、共同調達に向けて取り組んでおり、令和10年度までに計画的な更新整備を行うこととしている。

また、端末へのアプリケーション等の導入について、県立学校は各学校において管理を行い、市町立学校は、教育委員会が管理しているのは9市町、各学校が管理しているのは14市町である。

区分	児童生徒一人当たりの学習者用PC台数
広島県 (県立及び市町立)	1.1台/人 (全国第4位)
全国平均	1.1台/人

文部科学省「令和5年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」(令和6年3月時点)

(2) 通信環境の整備状況

一人1台端末の整備にあわせて、県及び全ての市町が通信環境の整備に取り組んでおり、普通教室の無線LAN等の整備率が99.7%となっている。

※所管する全ての学校の体育館において無線LAN等の通信環境が確保されているのは12市町

区分	無線LANまたは移动通信システム(LTE等)により、インターネット接続を行う普通教室の割合
広島県 (県立及び市町立)	99.7% (全国第7位)
全国平均	98.3%

文部科学省「令和5年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」(令和6年3月時点)

4 活用状況

一人1台端末の導入にあわせて、教員の活用スキルの向上、一人1台端末を活用した学びのアップデートに取り組むとともに、全ての教員が協働学習の場面でデジタル機器を活用することを推進している。具体的には、デジタル機器の活用が苦手な教員を対象とする研修に加えて、各学校のデジタル活用推進担当教員を対象とする研修を実施するとともに、実践事例の収集・好事例の紹介等を行っている。

(1) 教員のデジタルスキル習得状況

一人1台端末を活用した学びのアップデートには、教員のデジタルスキルの習得を重視しており、小・中学校、高等学校それぞれでデジタル機器の活用スキルについて、ループリックを作成し、基本的なものから発展的なものまでデジタルスキルの習得を推進している。

区分	ステップ1	ステップ2	ステップ3
小学校	99.0%	66.8%	28.7%
中学校	96.9%	58.3%	20.4%

令和6年度広島県児童生徒学習意識等調査学校質問紙

※小・中学校におけるステップ1～3の主な考え方については、次のとおり。

ステップ1		ステップ2	ステップ3
デジタル機器を授業の振り返り、教材の配信、連絡などに活用することができる。		デジタル機器を協働学習の場面で活用することができる。	デジタル機器を授業の内容を深めるために活用することができる。
【具体例】 ・ プロジェクターや大型モニターなどを使って、教材や資料を提示することができる。 ・ 学習支援ソフトなどを使って、生徒と課題や資料のやりとりをすることができる。 ・ アンケートソフトなどを使って、アンケートや小テストをすることができる。 など		【具体例】 ・ 文書作成ソフトなどを使って生徒が共同で作成した文書を授業で活用することができる。 ・ 表計算ソフトなどを使って生徒の意見や実験データなどを授業で共有することができる。 ・ デジタルホワイトボードソフトなどを使って授業で生徒の意見を共有することができる。 ・ ウェブ会議ソフトなどを使って同時双方向で授業や解説を行うことができる。 など	【具体例】 ・ 生徒の意見などを掲示した大型モニターやクラス管理ソフトなどにより、生徒の反応やつまずきを把握し、ファシリテートに生かしている。 ・ 個別最適な学びの視点から、多種多様な学習動画、デジタル教材などを生徒の興味・関心、特性に応じて活用している。 ・ 生徒が目的に応じて最適なソフトなどを選択・活用し、課題を探究するよう指導している。 など 

区分	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3
高等学校	84.8%	65.4%	52.1%

令和 5 年度教員のデジタル機器を活用するスキルについての調査
 ※高等学校におけるステップ 1～3 の主な考え方については、次のとおり。

ステップ 1		ステップ 2	ステップ 3
授業の振り返り、教材の配信、連絡などに活用している。		協働学習の場面で活用している。	授業の内容を深めるよう活用している。
・プロジェクタや大型モニタなどを使って教材や資料を提示している。 ・Classroomを使って課題や資料のやりとりをしている。 ・Formsを使ってアンケートや小テストをしている。		・ドキュメントを使って生徒が共同で作成した文書を授業で活用したことがある。 ・スプレッドシートを使って生徒の意見や実験データなどを授業で共有したことがある。 ・スライドを使って生徒が共同で作成したプレゼンテーション資料を授業で活用したことがある。 ・Jamboardを使って授業で生徒の意見を共有したことがある。 ・Meetを使って同時双方向での授業や解説をしたことがある。	・FormsやClassroomで行った生徒の振り返りの内容や課題の取組状況を基に授業の計画を練り直したことがある。 ・複数の機種 (OS) でGoogle Workspaceのアプリケーションを使用したことがある。 ・学習の中で必要なGoogle Workspaceのアプリケーションを生徒自身に選択させたことがある。

(2) デジタル機器の活用状況

児童生徒のデジタル機器の活用状況は次のとおり。

区分	小学校	中学校
「週 3 回以上デジタル機器を活用している」児童生徒の割合	62.3% (全国平均 59.5%)	64.7% (全国平均 64.4%)

令和 6 年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙

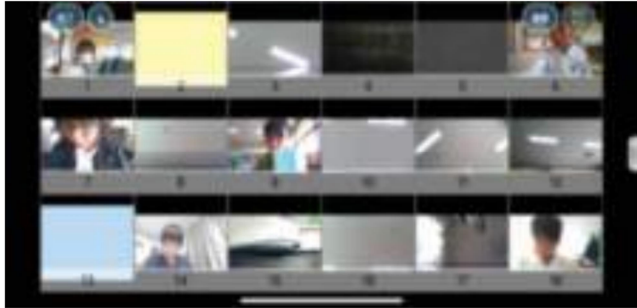
区分	高等学校
「日常的にデジタル機器を活用している」生徒の割合	97.7%

令和 5 年度生徒のデジタル機器の活用状況調査

(3) 活用の具体的な事例

授業の振り返りや教材の共有等の基本的な活用を始め、デジタル機器の特性を生かし、探究的な学習活動の充実や授業改善に向けて、児童生徒の発達段階や個々の特性等に応じて、各教科の授業、総合的な探究の時間及び課外活動等の様々な場面において、一人1台端末が活用されている。

ア 小・中学校における活用例

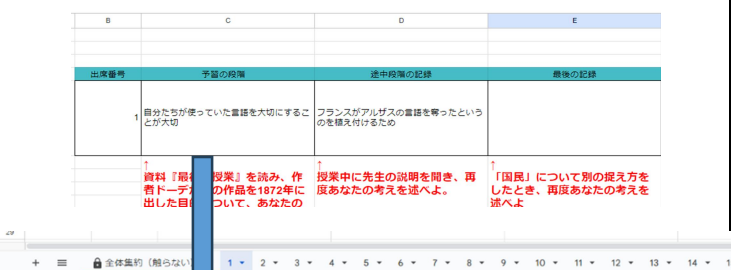
【授業での活用】 ・マット運動の技の改善に向け、記録した動画等を活用し、友達同士で協働して、アドバイスをし合う。 (北広島町・小学校・体育科)	
【授業での活用】 ・複数の資料を格納した共有フォルダに自分でアクセスし、資料を取捨選択しながら、それぞれの資料を組み合わせる自分の考えを表現している。 (三次市・中学校・社会科)	
【授業外での活用】 ・家庭学習において、「学習支援ソフト」を活用して音読等の宿題を自宅から送信したり、英語のリスニングに取り組んだりして、充実を図っている。 (江田島市・小学校)	 (家庭学習で録画した音読の宿題が提出された様子)

イ 高等学校における活用例

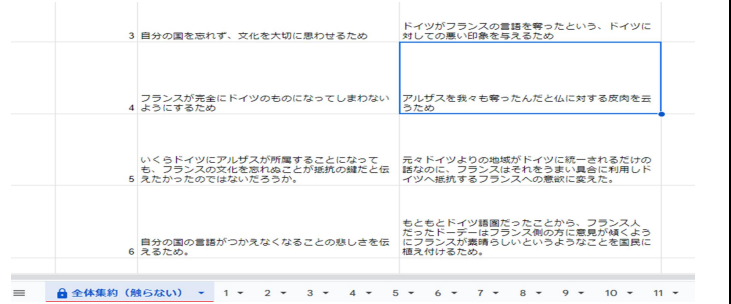
【授業での活用】

- ・歴史的資料についての個人の解釈をスプレッドシートに入力する。
- ・クラスを超えて、生徒の解釈を共有し、自分の解釈と比較しながら、グループでの話し合い等を通じて、各自の思考を深める。
(広島井口高等学校の事例)

○個人入力シート

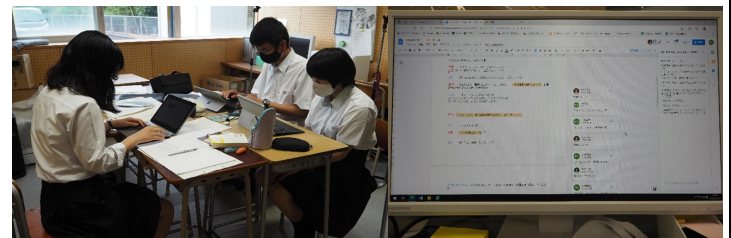


○全体共有



【部活動での活用】

- ・ドキュメントの共同編集機能を活用し、放送部の番組で使う原稿を作成させた。
(可部高等学校の事例)



ウ 特別支援学校における活用例

【就業体験】

- ・病室から遠隔操作 ロボット kubi (クビ) を操作し、企業で行っている焼菓子の手焼き体験の進行アシスタントを担当した。
(広島西特別支援学校の事例)



(病棟から iPad を操作してアシスタントしている様子)

【生活単元学習での活用】

「野菜や花を育てよう」

- ・育てている野菜を定期的に iPad で撮影し、写真を拡大・縮小したり、左右に並べたりしながら、前回から成長した点を比較・整理し、発表する学習活動をした。
(廿日市特別支援学校の事例)

